校訓	真 善 美	平成28年度学校だより 「荒中だより」 第12号	発行日	平成28年6月21日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 -豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる-		発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長　難波 重之

土曜参観ありがとうございました

梅雨の晴れ間に夏色の青空が広がった６月１８日（土)、たくさんの保護者や地域の皆さまに見守られる中、６校時に授業を公開しました。お休みの日に来校いただきありがとうございました。ご家族で来校される方も多く、約３３０名の生徒に関係する方々に日頃の授業の様子を見ていただきました。その後に行われた学級懇談会では、授業の感想や学校生活など様々なご意見をいただきましたことも併せてお礼申し上げます。また、授業に先立って行われた進路説明会には、約２４０名の参加をいただきました。**その関心の高さに応えるべく、ご家庭と連携を図りながら授業改善、学力向上に取り組み、一人ひとりの進路実現を叶(かな)えてまいります。**今回の進路説明会には、今年４月本校からの進学者数が多かった６公立高等学校に来ていただき学校の説明をしていただきました。その内容を以下に報告します。

さて、明日から一学期のまとめとなる期末テストです。**テストに向けての計画を立てた時の目標が達成できるように、万全の準備は進んでいる**でしょうか？

あと１日ですが、悔いを残さないようにこれまでの学習の振り返りをしっかりと行ってください。

【県立伊丹高校】　今春進学者：１６名

３年間で、『守破離』による生徒育成をめざす。宿題や課題はたいへん多く、覚悟が必要な学校であるが、生徒たちは切磋琢磨する集団である。GliS（理系）やSGH（スーパーグローバルハイスクール）が特徴的である。

【県立伊丹西高校】　今春進学者：３６名

丁寧で細やかな指導による基礎学力の充実や、キャリア教育に基づくインターンシップの充実によって進路実現を図る。総合ヒューマン類型（看護、医療、保育、福祉）や、思いやりの心を育む「花つくり委員」、ボランティア活動が特徴的である。

【県立伊丹北高校】　今春進学者：２４名

普通科よりも自由に、専門科目の中から幅広く履修科目が選択できる『進学型総合学科』である。自分で考え、しっかり行動できる人の育成をめざす。将来の職業観を養う「産業社会と人間」が特徴的である。

【市立伊丹高校】　今春進学者：２６名

『伊丹から世界へ』をキーワードに、グローバル人材の育成をめざす。普通科、普通科 GC コース（英語を基礎にした特進コース）、商業科があり、地域密着の学校である。トワイライト講座、市高イングリッシュ・キャンプを行っている。

【県立川西明峰高校】　今春進学者：２０名

国際社会に貢献できる生徒を育成するグローバルキャリア類型は、インドネシアの高校やオーストラリアの大学と Skype 等を使い交流を行っている。制服が替わり、冷房が完備されるなど施設も充実している。

【県立宝塚東高校】　今春進学者：１７名

自立した人を育成するため、キャリア教育、シティズンシップ教育に力を入れている。「わかるまで教える」基礎・基本の徹底や県の「アクティブ・ラーニング」指定による共同学習の充実に努めている。

第２回土曜スクールが行われました

６月２０日（月）、『土曜スクール』が行われました。１年２２名、２年１５名、３年２２名が参加し、自主学習に取り組みました。新たに伊丹北高校の学生ボランティアが１名加わり、支援の輪が着実に広がっていることを実感できました。

自信と誇りを持てる学校を創ろう!!